



18歳まで対象を拡大した福祉医療費受給者証

1. 福祉医療費給付金 給付対象年齢を18歳まで拡大

決算額
3340万円

中学修了時までが対象だった福祉医療費給付(=1レセプト当たり最大500円の自己負担で医療を受けられる)の対象年齢を18歳到達年の年度末まで拡大し、子育て世帯がより医療を受けやすい環境を整備しました。



多様性を認め合う社会を目指し計画書を答申

2. 多様性を尊重し合う 共生社会づくり計画を策定

決算額
190万円

多様性を認め合う社会を実現させていくため「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画」を策定しました。それぞれが自らの意思で生き方を選択でき、相互に尊厳と生き方を認め合える社会を目指します。



5. デマンド交通あづみんの 使いやすさアップ

決算額
1770万円

AI 活用型予約システムを導入し、スマートフォンアプリからの予約ができるようになりました。加えて、予約時に乗車予定時刻や目的地到着予定時刻が確認できたり、キャッシュレス決済を導入するなど利便性の向上を図りました。



アプリであづみんがもっと便利に

6. 安曇野ナンバー導入の取り組み

決算額
60万円

安曇野市・生坂村・池田町・松川村の4市町村で「ご当地ナンバー」の導入に向けて検討を開始しました。住民アンケートでは7割を超える賛同が得られ、ナンバー名称も「安曇野」に決定。今後は図柄デザインを決定し、令和7年度に予定される交付に向けて準備を進めていきます。



4市町村で安曇野ナンバー導入に向けて検討開始



令和4年12月5日にお披露目されたフレンチのフルコース

3. 安曇野フルコースの考案

決算額
400万円

安曇野の食材を使った「オール安曇野産」の和食・フレンチのフルコースメニューの考案を行いました。農と食に精通した料理人がメニューを考案し、レシピを広く公表しました。お披露目会や料理教室など開き、安曇野産農産物等の魅力を市内外に発信しました。

7. マウンテンバイクコースが オープン

決算額
1750万円

烏川溪谷に令和4年4月にオープンしました。コース設計はマウンテンバイクの元五輪代表の小林可奈子さん。スキルに合わせて楽しめるよう、ダウンヒルコース、クロスカントリーコース、初心者コースの3コースを整備。愛好家を中心に多くの人に利用いただいています。



自然の中を走り抜けるマウンテンバイクコース



安全・安心の避難環境の提供に向けて協定締結

4. 災害時等における宿泊施設の 提供に関する協定を締結

決算額
0円

災害時に客室を避難場所として活用できるように、市内6つの宿泊施設と協定を締結しました。高齢者や障がい者などの避難行動要支援者等の利用を想定し、宿泊費の一部を市が負担します。今後も安全・安心で多様な避難環境の整備を進めます。

8. アーティスト・イン・レジデンス 事業の実施

決算額
50万円

金工作家の柴田早穂さんが市内に滞在し制作(8月23日~9月5日)をしました。期間中には、ワークショップを行い、展覧会(10月16日~30日)中にはギャラリートークを実施するなど、市民が新たな芸術に直接ふれる機会になりました。



ワークショップを開催 42人が参加